



Contents:

第 21 回京臨技北部学術発表会2	
iPS 細胞研究の最前線	2
第 8 回理事会議事録	4
第 9 回理事会議事録	5
第 10 回理事会議事録	6
第 6 回施設責任者会議	8
第 26 回 京臨技精度管理調査合 同報告会	8
子宮の日啓発活動のご案内	8

## 東日本大震災へのお見舞い

平成 23 年 3 月

会員各位

(社)京都府臨床検査技師会

会長 今井秀一

### 東日本大震災へのお見舞い

このたびの東日本大震災で親族、友人、知人などが被災された会員のみなさまには心からお見舞い申し上げます。

被災された地域やみなさまの一日も早い復興とご健康の回復をお祈りしております。

本会としても、被災された方々のお役に立てるために何ができるかを考え、実行に移していきたいと考えておりますので、会員の方々におかれましては、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 平成 23 年度京臨技定期総会・記念講演

### ■ 平成 23 年度京臨技定期総会

平成 23 年 05 月 28 日 (土) 13:30~15:00

会場 : ホテル京阪

<生涯教育点数 基礎:20 点>

### ■ 市民公開講演(第 26 回国民文化祭 京都 2011)

日時 : 平成 22 年 05 月 28 日 (土) 15:30~17:00

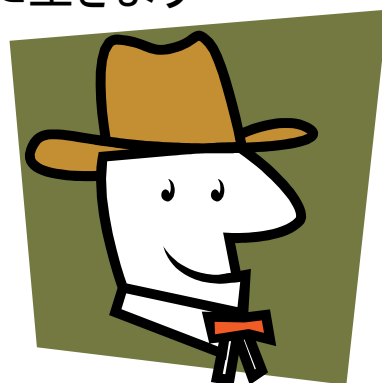
会場 : ホテル京阪

演題 : 未病を知って元気に生きよう

講師 : 櫻林 郁之介 先生

(自治医科大学名誉教授)

<生涯教育点数 基礎:20 点>



発行所 (社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 今井 秀一

編集者 白波瀬 浩幸

〒606-8395 京都市左京区

東丸太町9-1マンパワービル 3F

TEL・FAX 075-752-5090

E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 第 21 回京臨技北部学術発表会

平成 23 年 1 月 29 日

綾部市 IT ビル

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

全体参加人数：93 人

京臨技会員参加人数：55 人

仮会員参加人数 1 人

非会員参加人数 3 人

賛助会員参加人数 19 人

一般参加人数 15 名

講演内容など：第 21 回京臨技北部学術発表会を平成 23 年 1 月 29 日（土）に綾部市 I・T ビルにて開催いたしました。市民公開講座は「iPS 細胞研究の最前線～その成り立ちと臨床応用への取り組み～」と題し、櫻井英俊先生にご講演していただいた。また特別講演では「心が輝けば、人生も輝く」と題し小藪実英氏にご講演いただいた。YIA 分部門を含み一般演題は 8 題であった。参加人数は技師会員 55 名、仮会員 1 名、非会員 3 名、賛助会員 19 名と一般 15 名の合計 93 名の参加で盛会の開催であった。（今田尚文）

---

## iPS 細胞研究の最前線—その成り立ちと臨床応用への取り組み

2011 年 1 月 29 日

京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA) 臨床応用研究部門 講師 櫻井 英俊

本日はお忙しい中、講演を聞いていただきありがとうございます。今回は新たな医療技術になると期待されている iPS 細胞について、これまでの背景と現在取り組まれている臨床応用を目指した最新研究の話題をお伝えしたいと思います。

本日の講演は 2 部構成で行います。第 1 部は「iPS 細胞って何だ？」という部分に焦点をあて、その成り立ちについて話します。第 2 部ではどんな研究がなされているのか？を中心に紹介したいと思います。

### 第 1 部 iPS 細胞の成り立ち

よく耳にする「iPS 細胞」という言葉ですが、どんな細胞なのでしょう？直訳すれば「人工多能性幹細胞」ですが、「新型万能細胞」と言ったほうがしっくりくるでしょう。あらゆる組織・臓器になれる万能細胞が、誰からでも作れるという点が画期的なのです。

もともと万能細胞には「ES 細胞」がありました。これは受精卵から作成するため倫理的問題があり、また誰からでも作れるわけではないので、仮に移植して治療しようとしても拒絶反応が起こってしまいうまくいきません。

2000 年頃から世界中の科学者が、どうにかして ES 細胞に代わる新しい万能細胞を作ろうと懸命に研究していました。特に体の細胞の核を卵子の細胞に入れるという「クローン技術」はマウスで成功していたこともあり期待されていました。同じころ京都大学の山中伸弥教授(現 CiRA 所長)は別の方法で万能細胞を作ろうと研究を進めていました。それは ES 細胞にだけ発現している遺伝子を体の細胞に入れることで、同じような細胞ができるのではないか、という方法です。当時研究員の高橋和利博士(現 CiRA 講師)の努力により 2006 年マウス iPS 細胞が、2007 年にはヒト iPS 細胞が誕生しました。

では iPS 細胞には何ができるのでしょうか？たとえば再生医療の移植細胞になります。心臓移植でしか助かる方法のない病気の患者さんには、患者さんの細胞から心臓の筋肉の細胞を作り出し、移植してあげることで治療します。また他には、病気の原因解明の道具になります。原因がわかっていない神経の病気の患者さんの iPS 細胞から神経の細胞を作り出し、その病気の神経細胞と健常な方の iPS 細胞からの神経とを比較することで、原因となる遺伝子やタンパク質が解明されるでしょう。さらには創薬にも応用できます。先ほどの病気の患者さんの iPS 細胞を使って原因が分かれば、その部分を抑える作用のある薬剤を振りかけることで、どの薬に治療効果があるかを試験できます。人体実験を行わなくても、iPS 細胞が代わりに実験に参加してくれるというわけです。しかし、そんな iPS 細胞にも全く欠点が無いわけではありません。マウス iPS 細胞から生まれたマウスは、ある確率で腫瘍が発生することが分かっています。今後はそういった欠点を無くしていくことも重要な研究テーマです。

## 第 2 部 iPS 細胞の臨床応用への取り組み

iPS 細胞を使った臨床応用研究の具体例をいくつか挙げてゆきたいと思います。

まず細胞移植での治療研究は、網膜の病気に対してサルを使った実験で有効性が証明されつつあり、ヒトにおいても数年以内に治験がスタートすると考えられています。脊髄損傷もマウスでの有効性が示されました。血小板を作り出す巨核球を作り出し、輸血用の血小板を細胞に作らせるという研究もあります。またパーキンソン病治療や筋ジストロフィー治療へも応用すべく研究されています。副作用である腫瘍化がどれくらいの確立で起こるのか長期間の観察が必要でしょう。

次に病態解明研究では、ALS という神経の難病患者さん由来の iPS 細胞が作成され、神経細胞を作り出して研究されています。ALS 患者さんの 1 割は遺伝性で原因もわかっていますが、残りの 9 割は原因不明です。原因が分かれば予防や治療が可能になると考えられています。他にはアルツハイマー病や多発嚢胞腎など原因があまり詳しく分かっていない疾患が研究されています。

創薬研究では、まだまだ始まったばかりのものが多いのですが、先に述べた ALS でも治療薬研究がなされています。筋ジストロフィーや、FOP という筋肉に骨ができてしまう病気の治療薬も研究対象になっています。また逆に副作用を検討するために、iPS 細胞から肝臓の細胞を作り出し、薬剤性肝障害が起きやすいかどうかをテストするために使おうとする試みもあります。

また、これらの研究とはまったく別の方法で治療しようとする研究もなされています。それは「ブタにヒトの膵臓を作らせる」というものです。膵臓が出来なくなったラットの胎児にマウス iPS 細胞を移植して、ラットの体の中にマウスの膵臓ができるという研究成果が発表されました。これを応用して、ブタの体の中でヒトの膵臓が作られるようになり、それを移植すれば拒絶も起きず糖尿病を治療できるのではないか、という発想で研究が行われています。

欠点である腫瘍化を減らそうとする研究も進んでいます。最初に確立された方法では、遺伝子導入にウイルスを使うため iPS 細胞の遺伝子に傷がついてしまい、これが後々腫瘍化に影響するのではないかと考えられています。そこで遺伝子に傷をつけないで iPS 細胞を作成する方法がいくつか改良されてきました。もっとも期待されているのは、遺伝子導入にウイルスを使わずに、一時的に遺伝子導入された後は入れたものが消える仕組みを持った導入法です。

以上さまざまな研究を紹介しましたが、これら以外にもいろいろな研究がなされています。iPS 細胞がもたらした治療の可能性は計り知れません。もちろん研究の全てがうまくいく訳ではないでしょうが、だからと言って治療研究をやめるのではなく、何か治す方法がないか日々考えながら一步一步研究を進めて行くことが我々の使命だと考えています。



平成 22 年度京都府臨床検査技師会  
第 8 回定例理事会議事録

日時：平成 23 年 1 月 13 日(木) 18:30～20:15  
場所：京臨技丸太町事務所  
議長：今井  
書記：岡 議事録署名人：今井・小澤  
出席者：会長：今井 副会長：白波瀬・小澤・早瀬  
理事：青山・岡・荻野・佐々木・高嶋・辻・豊山・中村・林(孝)・廣瀬・藤崎・山田  
委任状提出：笹田・林(雅)  
顧問：田畑 日臨技理事：湯浅 事務局：山方  
欠席者：なし

【報告・連絡事項】

1 日臨技報告(湯浅・白波瀬)

- ・平成 23 年 1 月 23 日(日)医療安全講習会開催
- ・別紙報告(1 月 8 日(金)kamt にて)

《抜粋要旨》

- ※ 公益事業；平成 23 年 1 月から会誌「医学検査」の発行が年 12 回から 6 回となり会報 JAMT は会誌に組み込む。
- ※ 精度保障事業；167 基幹精度保証施設中 152 施設から申し込み 審査終了
- 2 近臨技報告(今井・白波瀬)
  - ・平成 22 年 12 月 11 日(土)～12 日(日)
  - 近臨技臨時理事会・近臨技第 4 回理事会
  - 出席者：今井・白波瀬・小澤・早瀬・荻野・湯浅 奈良県婦人会館
- ※ 今後の近臨技と近畿の都道府県技師会の運営について「近畿支部協議会あり方委員会」を立ち上げ検討を行う。構成委員は富永近臨技会長・山本近臨技副会長・森嶋日臨技地区担当理事・近畿各府県技師会事務局長。
  - ・平成 22 年 12 月 11 日(土)
  - 第 50 回近畿医学検査学会記念式典 奈良ホテル
  - 第 49 回近畿医学検査学会の学術奨励賞の表彰並びに京臨技より記念品を贈呈。
  - ・平成 23 年 1 月 29 日(土)
  - 第 1 回近畿支部協議会あり方委員会 大臨技事務所
  - 出席予定：小澤副会長
  - ・平成 23 年 3 月 20 日(日) 15 時～17 時
  - 第 5 回近臨技理事会 大臨技事務所
  - 出席予定：今井・荻野・湯浅・(小澤)
- 3 総務部(小澤)
  - ・平成 22 年 12 月 16 日(木) 京都府定期立入検査 京臨技事務局(保健衛生専門学校内)
  - 対応者：今井・小澤・山方
  - 別紙報告(12 月 22 日(水)kamt にて) 特に問題となる指摘なし、法人移行への相談指導
  - ・平成 22 年 12 月 24 日(木)
  - 第 18 回医療推進協議会代表者会議
  - 出席者：山田
- ※ 平成 22 年 9 月 23 日(木) 京都市勧業館 みやこめっせ 参加者 3,000 人
- ※ 次年度予定 平成 23 年 12 月 11 日(日) 京都市勧業館 みやこめっせ
- ・平成 23 年 2 月 23 日(水)

法人移行に関する個別相談会 京都府庁  
出席者：今井・小澤・山方  
定款変更・特別会計の運用方法等の相談指導等  
・2 月行事予定表発送予定 1 月 21 日(金)

4 学術部

- ・平成 22 年 12 月 12 日(日) 奈良県婦人会館 近臨技学術部会議
- 第 51 回近畿支部医学検査学会シンポジウム打ち合わせ会議 出席者：今井・早瀬・荻野
- ・平成 22 年 12 月 27 日(月)
- 京臨技精度保証施設認証委員会開催
- 出席者：今井・湯浅・豊山・土田・飯田
- ※京都市立病院・第二赤十字病院の 2 施設について審議申請書類 1 月 12 日に日臨技必着であったため理事会承認は事後承認

【委嘱・承認事項】

- 1 会員動向(小澤)(別資料 1) . . . . .承認
- 会員総数 979 名 1 月 13 日現在(内当年度会費未入金 29 名)、新入会 0 名・退会 0 名・転入 2 名・転出 0 名・仮会員異動なし
- 2 後援申請(荻野・林孝俊・今井)
  - ・「第 11 回京都呼吸ケア研究会」 . . . . .承認
  - 日時：平成 23 年 3 月 12 日(土)(京都リサーチパーク)
  - 主催：京都呼吸ケア研究会
  - テーマ：在宅呼吸ケア
  - ・「第 28 回京都民医連中央病院 細胞診教育セミナー」 . . . . .承認
  - 開催期間：平成 23 年 4 月～12 月
  - 主催：社団法人京都保健会 京都民医連中央病院
  - 場所：京都民医連中央病院 病理技術課 京臨技ホームページへの掲載
  - ・京都府保険医協会より賛同依頼 . . . . .承認
  - 入院患者の他医療機関受診取扱い方法の改善を求める賛同のお願い

【検討議案】

- 1 京臨技精度保証施設認証委員会 京都市立病院・第二赤十字病院の 2 施設の認証審議について
  - ・精度保証施設認証申請に関して
  - 申請申込みから認証審議・承認し、日臨技への書類発送までの期間が短いという問題があり、期間を再考していただくよう日臨技へ申し入れを行う
  - ・精度保証施設認証委員会運営経費が日臨技からの負担金で賄えない
  - ・申請の際の不備が多い(ex.申請条項に年一回 精度管理に関する研修会に参加するなど)の条件が認知されていない
  - ・日臨技より様式化した提出書類の案内が必要。
  - ・京都基幹施設は京都府立医大病院・京都市立病院・第二赤十字病院
- 2 法人移行 特別会計の運用方法について
  - ・余剰金保有は認められない

・現在ある余剰金は年次計画に沿って使用することが求められる

・事務所維持管理・精度管理事業・学術事業の会計計画を作成する

・公益法人化への移行も視野に入れば更に厳密な運用が求められる

### 3 京臨技総会会場について

・開催日：平成 23 年 5 月 28 日(土)

・会場候補：京都アスニー・キャンパスプラザ京都・ホテル京阪・三笑堂・フクダ電子・

アーケレイ・堀場製作所・京都保健衛生専門学校

・京都保健衛生専門学校は学校行事があるため不可

・交通の利便性から第一候補は三笑堂・次候補；フクダ電子・ホテル京阪など

・一般会員を集める工夫（立地条件・講演内容・案内ポスター作成）

### 4 京臨技役員・賛助会員新春懇親会について

・日時：平成 23 年 2 月 4 日(金) 18:30～

・場所：光悦(五条西洞院上ル)

・会費：賛助会員・役員ともに¥6,000 円

### 5 精度管理報告会・施設責任者会議

・日時：平成 23 年 3 月 12 日(土) 12:00～

・場所：京都府立医科大学臨床講堂

・精度管理報告会・施設責任者会議を合同で実施

・例年参加者が少ない 施設責任者会議は京臨技が費用負担してランチョン形式で実施

・施設責任者会議では日臨技の動向・精度保障・賠償保険・会費などの案内と講演を行う

### 6 第 21 回京臨技北部学術発表会の出席のお願い

・日時：平成 23 年 1 月 29 日(土) 12:30～

・場所：綾部 IT ビル

### 【その他情報交換など】

・平成 23 年度から日臨技が生涯教育登録を行う

・京臨技賠償保険入会会員数 約 20 名

・平成 23 年度は現在の日臨技定款、ならびに日臨技、地臨技会費の別納精度により、他の

地臨技会員の転入出に際し、地臨技会費の扱い・把握・会員管理が難しい

・香川県技師会の「街かどろボ」の違法性が指摘されている  
平成 22 年度第 9 回定期理事会予定

日時：2 月 10 日(木) 18:30～20:30

会場：京都保健衛生専門学校

## 平成 22 年度京都府臨床検査技師会 第 9 回定期理事会議事録

日 時：平成 23 年 2 月 10 日(木) 18:30～20:30

場 所：京都保健衛生専門学校

議 長：今井

書 記：辻 議事録署名人：今井・白波瀬

出席者：会長：今井 副会長：白波瀬・小澤

理事：岡・佐々木・高嶋・辻・中村・林(孝)・藤

崎・山田

委任状提出：早瀬・荻野

顧問：田畑 日臨技理事：湯浅 事務局：山

方

欠席者：青山・笹田・豊山・林(雅)・廣瀬

### 【報告・連絡事項】

#### 1 日臨技報告(湯浅)

・平成 23 年 3 月 26 日(土) 第 2 回定期総会開催 出席のお願い。

#### 2 近臨技報告(小澤)

・平成 23 年 1 月 29 日(土) 大臨技事務所 第 1 回近畿支部協議会あり方委員会

《抜粋要旨》

日臨技関西支部における活動に於いて補助的役割として、会員のニーズを支部活動に反映させるとともに近畿地区内で意見や情報を共有できる場をつくり、検査技師の連携とスキルアップを目的とする事業を行う。

理事会は年 4 回開催・幹事会は年 2 回の開催等の具体的な案が報告された。

京臨技より理事 2 名と研究班長 1 名を選出

・平成 23 年 3 月 20 日(日) 15 時～17 時 第 5 回近臨技理事会 大臨技事務所

出席予定：今井・荻野・湯浅・(小澤)

#### 3 総務部

・平成 23 年 2 月 4 日(金) 18 時 30 分～ 京臨技理事・賛助会員新春懇親会

参加総数 71 名 賛助会員 31 社 57 名

・日臨技総会案内の配布と委任状回収

平成 22 年度日臨技第 2 回定期総会 3 月 26 日(土) 委任状回収締切日 3/10→**3/20**

平成 23 年度日臨技第 1 回定期総会 5 月 14 日(土) 委任状回収締切日 5/9

委任先は『京臨技会長』とする事で統一

・平成 23 年 2 月 23 日(水) 法人移行に関する個別相談会 京都府庁

定款変更の関する相談指導・特別会計の運用方法等の相談指導等

出席予定：今井・小澤・山方

・平成 23 年 2 月 26 日(土) 午前 11 時 30 分から オークラ千葉ホテル

前千葉臨技会長 森重彦 氏 お別れの会案内 京臨技より供花を手配する。

・3 月行事予定表発送予定 平成 23 年 2 月 22 日(火)

#### 4 学術部

・平成 23 年 1 月 21 日(金) 京臨技会報 No.40 発行

・平成 23 年 1 月 29 日(土) 第 21 回北部学術発表会

総数 83 名の参加者

参加者：会員 58 名・賛助会員 19 名・非会員 1 名(メーカー)・公開講座一般 15 名

・平成 23 年 2 月 1 日(火) 第 46 回京都病院学会 第 1 回実行委員会 青山理事出席

平成 23 年 6 月 12 日(日) 第 46 回京都病院学会 会場：池坊短期大学(四条室町)

学会当日の実務委員 4 名と一般演題の座長依頼あり

・平成23年2月19日(土)14時～17時 管理運営・  
チーム医療(NST)部門講演会

会場：メルパルク

テーマ

・新たな検査システム「検査カフェ」の導入のいきさつと  
その波及効果

・NSTと臨床検査

・慢性閉塞性肺疾患(COPD)の栄養療法

京都各施設の関係者(事務・看護師・検診担当関係者)  
に案内する

#### 【委嘱・承認事項】

- 1 会員動向(小澤)(別資料1) . . . . .承認  
会員総数 969名 2月8日現在 (内当年度会費未入金 18名)  
新入会0名・退会0名・転入2名・転出2名・仮会員異動なし

#### 【検討議案】

- 1 施設責任者会議について  
平成23年3月12日(土)12時～14時 京都府立医科大学基礎医学学舎  
講演会テーマ「検査の経営改善に向けて」 講師：シスメックス(株)キタガワ氏
- 2 精度管理合同報告会について  
平成23年3月12日(土)14時～17時 京都府立医科大学基礎医学学舎  
受付：佐々木理事・山方氏他 座長：前半 岡理事 後半 辻理事 進行：豊山理事
- 3 京臨技総会について  
平成23年5月28日(土)14時～17時 ホテル京阪京都  
スクリーン・プロジェクター・PC持ち込み

ポスター作成を早めに行い会員へ周知する 林(雅)理事作成

- 4 平成23年度京臨技記念公開講演 「第26回国民文化祭・京都2011」登録行事  
平成23年5月28日(土)15:30～17:00 ホテル京阪京都  
テーマ「未病を知って元気に生きよう」講師：櫻林郁之助先生 自治医科大学名誉教授
- 5 京臨技新「一般社団法人」の定款変更案が出され意見交換がされた  
入退会・再入会における事務的処理の具体的方法は今後、総会までに詰める
- 6 京臨技会員管理について  
会員番号・会員証発行・研修会参加登録・行事予定・研修会案内・管理システム(ソフト)  
京臨技独自の会員データベースの作成と運用の方法について意見交換された  
市販データベースソフト「file maker等」で行う案が出された  
3月中旬までに会員証の発行準備を行うので早急に情報システム研究班に打診  
現行の日臨技会員番号の下4ケタを京臨技独自の番号を振り当てる案が出された  
仮会員の取扱いは、今後は無くす方向で意見一致

#### 【その他情報交換など】

平成22年度第10回定例理事会予定  
日時：3月10日(木)18:30～20:30  
会場：京臨技丸太町事務所

### 平成22年度京都府臨床検査技師会 第10回定例理事会議事録

日時：平成23年3月10日(木)18:30～20:30

場所：京臨技丸太町事務所

議長：今井

司会：白波瀬

書記：笹田 議事録署名人：今井・早瀬

出席者：会長：今井 副会長：白波瀬・早瀬

理事：青山・岡・荻野・佐々木・笹田・辻・豊

山・中村・林(孝)・藤崎

委任状提出：廣瀬

顧問：田畑・清井 日臨技理事：湯浅 事務

局：山方

欠席者：小澤・高嶋・林(雅)・山田

#### 【報告・連絡事項】

- 1 日臨技報告(湯浅) 詳細別紙  
・日臨技行事がJAMTに掲載されているので京臨技行事と重ならないよう注意してほしい。
- 2 近臨技報告(白波瀬)  
・平成23年3月6日(日) 大臨技事務所 第2回近畿支部協議会あり方委員会

担当の小澤副会長が本日欠席のため、詳細は別紙を参照していただきたい。

近畿支部協議会の会費(会員1人あたり300円)の支払いは必要かとの質問があったが、総会までに確認し報告するとのことであった。

・平成23年3月20日(日)15時～17時 第5回近臨技理事会 大臨技事務所  
出席予定：今井・小澤・荻野・湯浅

- 3 総務部  
・平成23年2月23日(水)法人移行に関する個別相談会 京都府庁(今井・小澤・山方)  
(定款案修正については検討項目参照)  
・日臨技総会委任状回収 22年度第2回分 3月20日締切り、引き続き協力してほしい。  
・行事予定表発送は、3月24日(木)に行う予定。
- 4 学術部  
・平成23年3月2日 第46回京都病院学会 第2回実行委員会およびプログラム編成委員会(青山)  
第46回京都病院学会が池坊短大で6/12に開催 演題数 全409題(臨床検査部門21題)



・精度保証施設認証の報告

京都府立医科大学附属病院のみであったが、新たに京都第二赤十字病院、京都市立病院が精度保証施設認証の許可がおりた。引き続き事務手続きを行い、来年度は3施設になる予定。

【委嘱・承認事項】

- 1 会員動向(別資料1) . . . . .承認  
会員総数 965名 3月9日現在 (内当年度会費未入金 15名)  
新入会0名・退会2名・転入0名・転出1名・仮会員異動なし
- 2 がん医療を考える会への協賛 . . . . .承認  
継続で協賛し23年度会費2万円を支払うことに関して京臨技会員から意見を求められたとき、必要性を説明できるかとの意見があったが、京都府下のがん医療についての啓蒙活動を行っている実績もあり継続することで承認された。京臨技会員への説明については三役で検討する。
- 3 共催申請「子宮の日」子宮頸がん啓発活動 . . . . .承認  
例年共催しているが、来年度は4/9(子宮の日)が土曜ということもあり、積極的な活動を展開する予定。その一環として、雑誌ホスピタへの掲載を考えているが、発行元が一般の株式会社であるということもあり理事会の承認を得たいという話であったが、雑誌への掲載料は取材という形をとり無料であること、発行元もボランティア活動に近い会社業態であることから問題なしと判断され承認された。

【検討議案】

- 1 施設責任者会議について  
平成23年3月12日(土)12時~13時55分 京都府立医科大学基礎医学学舎  
参加申込は、回答数46件、参加者数43名、要食事39名  
任務分担 集合11時  
会長挨拶：今井、京臨技よりのお知らせ：小澤、フリートーク：荻野、閉会挨拶：早瀬  
司会進行：林(孝)、受付：佐々木・青山、食事手配・ゴミ撤収：山方、  
照明マイク：白波瀬、PC担当：笹田
- 2 精度管理合同報告会について  
平成23年3月12日(土)14時~ 京都府立医科大学基礎医学学舎  
任務分担 司会進行：豊山、座長：岡・辻、PC担当：笹田  
検査データの入力ミス発生につき謝罪文書の配布、CD-Rの再配布について説明を行う  
(再発防止のためのデータ入力のダブルチェック、京臨技ホームページ等への直接データ入力の実施などの対策については今後の検討課題とする)
- 3 京臨技総会について  
平成23年5月28日(土)14時~17時 ホテル京阪京都  
担当の林(雅)理事が本日欠席のため、詳細は不明であり、早急に対応する必要がある  
(定款変更案については5にて検討)
- 4 平成23年度京臨技記念公開講演 「第26回国民文化祭・京都2011」登録行事

平成23年5月28日(土)15:30~17:00 ホテル京阪京都  
テーマ「未病を知って元気に生きよう」講師：櫻林郁之助先生 自治医科大学名誉教授

- 5 京臨技新「一般社団法人」の定款案について  
①平成22年度 事業報告書 承認の件  
②平成22年度 決算報告書 承認の件  
③一般社団法人への移行 承認の件(答申書にて説明)  
④平成23年度 事業計画案 承認の件  
⑤平成23年度 収支予算案 承認の件  
⑥移行登記の停止条件付決議として  
「定款変更案」「入会・退会及び会費規程案」承認の件  
移行後の理事・監事の継続の件(登記直前の理事・監事)  
移行後の会長の継続の件(登記直前の代表理事)  
(①②④⑤は例年どおり(1/2)の普通決議③⑥は定款の定めにより(3/4)の特別決議)  
「定款変更案」「入会・退会及び会費規程案」を4月の定例理事会にて確定したい  
(「定款変更案」については京都府の承認も概ね得られ細微な修正を残すのみ)
- 6 第46回京都病院学会  
実務委員：青山、準備：豊山・藤崎、他第二岡本病院技師2名が参加
- 7 京都府医師会から『平成23年度 第38回くらしと健康展』の開催場所について  
開催場所をバルスプラザから京都府医師会館(JR二条前)へ変更したい  
変更理由：①京都市の中央エリアで実施する方が一般来場者のアクセスがよい  
②駅から距離が近いことから高齢の方の負担が少ない等  
医師会館にて開催となればスカイフェスティバルとの併催はできなくなるので、それも踏まえて検討してほしい  
京臨技は会場変更賛成で回答
- 8 京臨技会員証発行について  
会員1人当たり会員証100円、発送費用50円の経費が発生する  
来年度の会員証については新年度早々に発送  
会員番号については、あり方委員会で討議された内容に沿って行う
- 9 行列が出来るスキルアップ研究会Ⅱ 案内配布について  
施設責任者会議で配布する

【その他情報交換など】

- 1 京都医師会・京臨技合同学術研修会  
来年度は7/23(土)グランピアホテル京都にて開催(協賛は例年どおりロシュ)
- 2 来年度の日臨技生涯教育制度の行事登録方法について  
現在問合わせ中、日臨技が公益法人へ移行手続き中であり、未定とのこと  
問い合わせを継続

平成22年度第11回定例理事会予定  
日時：4月14日(木)18:30~20:30  
会場：京都保健衛生専門学校

## 第6回施設責任者会議(ランチョンセミナー)

日時：平成 23 年 3 月 12 日(土) 12:00~14:00

場所：京都府立医科大学 基礎医学学舎

主題 1：京臨技より組織改変に伴うご案内

講師 1：小澤 優(京都府臨床検査技師会副会長)

主題 2：「検査室の経営管理の改善に向けて」

講師 2：北川 隆(シスメックス株式会社 学術情報認証部サポートセンター)

全体参加人数：42 人、京臨技会員参加人数：39 人

講演内容など：今年で第 6 回を迎える施設責任者会議ですが、今回はランチョンとし精度管理報告会への同時参加も狙いました。第一部では来年度・再来年度に予定されております、会員取り扱いの変更、入会・入金方法の変更、それに伴う賠償保険の斡旋など 日臨技の定款変更に伴う京臨技としての対応内容など、現状を説明させていただく機会の 1 つとしました。そして第二部では管理者の皆様に参加していただけるような講演にしたいと考え、病院の運営コンサルティングを手がけておられるシスメックス株式会社 学術情報認証部サポートセンターの北川隆氏に「検査室の経営管理の改善に向けて」と題して講演をしていただきました。フリートークでは京臨技への要望なども出していただき、有意義な会となりました。恒例化定着化させることでさらに重要な会となるよう来年度も企画したいと考えます。(報告者：林 孝俊)

## 第26回 京臨技精度管理調査合同報告会

日時：平成 23 年 3 月 12 日(土) 14:00~17:00

会場：京都府立医科大学 基礎医学学舎

講師：各研究班精度管理委員

参加人数：会員 54 名 賛助会員 10 名

講演内容など：今回で 3 回目となる精度管理合同報告会は、施設責任者会議につづいて行ったおかげで責任者の方も多く参加いただき合同報告会本来の姿となった。9 部門を前半と後半に分け、発表ののち質疑応答とした。現在の出題、回答形態、精度管理にふさわしい出題、予想される正解率、教育的出題など大小の問題が浮き彫りになり精度管理委員会開催の必要に迫られた。(報告：豊山浩祥)

## 子宮の日啓発活動 のご案内

日時：平成 23 年 4 月 9 日(土)  
13:00 ~18:00

会場：イオンモール京都5階  
T-JOY京都

内容：

1. 子宮頸がんに関する講演
2. ゲストによるトーク&ライブ
3. パネルディスカッション

講師：

1. 加藤 順子技師(株式会社 セルネット)
- 三宅 秀一技師(京都市立病院)

<ゲスト>

2. 松本 隆博氏 ミュージシャン、社会貢献的エンターティナー(ダウタウン 松本 人志氏の実兄)

<日臨技生涯教育>

基礎 公益活動-20点

参加費：無料

\*当日、一緒にパンフレットやピラを配っていただくボランティアを募集しております。

ボランティアいただいた会員には日臨技生涯教育、基礎点数がつきます。会場で病理研究班員にお声掛け下さい。

問い合わせ先：宇治徳洲会病院  
検査科 江口 光徳

TEL:0774-20-1111(代)